

パーフェクトなレポート執筆のための
引用の書きかた

4/25(月), 4/27(水)

12:30~




京都大学

吉田南総合図書館

目次

【参考】リソース資料

レポート執筆に役立つブックリスト
SIST02のブックレット
文献管理について



- 引用って何？
- 何のために引用するの？
- 著作権法と注意事項
- 引用方法
- 参考文献リストの読み方・書き方

引用って何？

自分の論のよりどころなどを補足し、説明、証明するために、他人の文章や事例または古人の言を引くこと。

出典:『日本国語大辞典』.ジャパンナレッジ, <https://japanknowledge.com/library/>,
(参照2022-03-25)

何のために引用するの？

先行文献に
言及するため

研究の背景説明
のため

論への賛同
または
反論のため



自論の補強のため！

著作権法

第32条(引用)

公表された著作物は、引用して利用することができる。この場合において、その引用は、公正な慣行に合致するものであり、かつ、報道、批評、研究その他の引用の目的上正当な範囲内で行なわれるものでなければならない。

(第32条)公正な慣行に合致すること、引用の目的上、正当な範囲内で行われることを条件とし、自分の著作物に他人の著作物を引用して利用することができる。同様の目的であれば、翻訳もできる。

出典:文化庁HP”著作物が自由に使える場合”。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html,
(参照2022-03-25)

注意事項

1. 他人の著作物を引用する**必然性**があること
2. かぎ括弧をつけるなど, 自分の著作物と引用部分とが**区別**されていること=**明瞭区分性**
3. 自分の著作物と引用する著作物との**主従関係**が明確であること(自分の著作物が主体)
4. **出所の明示**がなされていること
5. **原文通りに写すこと**(孫引はダメ)

まご-びき【孫引】

ある文句を引用するとき、原典・原文を調べないで、他の本に引用してあるものをそのまま用いること。出典:『日本国語大辞典』. ジャパンナレッジ, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照2022-03-25)

コピー・改ざんはNG

捏造:存在しないデータ、研究結果等を作成し、論文等により発表すること。

改ざん:研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工し、論文等により発表すること。

盗用:他人のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該他人の了解又は適切な表示なく流用し、論文等により発表すること。

<参考:京都大学における公正な研究活動の推進等に関する規定>

https://www.kyoto-u.ac.jp/uni_int/kitei/reiki_honbun/w002RG00001165.html(参照2022-04-08)

ニュースを引用して意見をまとめてみよう

朝日新聞デジタル > 記事

「100回洗えるマスク」が登場 京都の繊維メーカー発

榎原謙 2020年5月26日 19時37分

シェア ツイート B!ブックマーク メール 印刷

list 1



ミツフジが開発し、受注を始めた100回洗濯ができるマスク=同社提供

京都の繊維メーカー、ミツフジが、100回の洗濯に耐えられ、繰り返し使えるというマスクを売り出した。すでに「50回洗える」をうたったマスクを売り出していたが、さらに耐久性を高めた。公式オンラインショップ（https://mitsufujishop.jp/S_HOP/hamonAG002.html）で予約を受け付ける。1枚税別3千円で、1回の注文で買えるのは10枚まで。

西陣織づくりがルーツのミツフジは、医療向けに菌の繁殖を抑える衣料素材や、抗菌・防臭の効果があるという繊維の銀めっき技術を開発してきた。新型コロナウイルスの感染拡大でマスクの需要が増えていることから、自社技術を生かし、新たにマスク用の素材をつくって商品化した。

ミツフジは三寺歩社長の祖父が1956年、西陣織を祖業に京都府で創業。需要の落ち込みで一時は経営が危ぶまれたが、独自の織物の技術に、三寺社長のITの知見を組み合わせ、着るだけで体の状態がわかる「ウェアラブル端末」の開発や製造で立て直した。「100回洗える夏マスク」は、「繊維業のノウハウとウェアラブル技術を融合させたもの」だという。

マスクは同社の福島県の工場ですべて生産する予定だ。（榎原謙）

これは正しい引用？

西陣織づくりにルーツをもつミツフジは、菌の繁殖を抑える医療向け素材などを開発する一方、着るだけで体の状態が分かる「ウェアラブル端末」も開発してきた。今回のマスクは、繊維業のノウハウとウェアラブル技術を融合させたものだ。

参考文献

榊原謙. 「100回洗えるマスク」が登場 京都の繊維メーカー発. 朝日DIGITAL.

剽窃

出典の
情報が
不十分

良い例

5月26日に朝日新聞は「京都の繊維メーカー、ミツフジが、100回の洗濯に耐えられ、繰り返し使えるというマスクを売り出した」¹⁾と報道した。同報道によると、西陣織づくりにルーツをもつミツフジは、菌の繁殖を抑える医療向け素材などを開発する一方、着るだけで体の状態が分かる「ウェアラブル端末」も開発してきたという。

新型コロナウイルスが流行する今日、市民レベルの対策として、マスクの着用が重要視されている。ドラッグストアなどで空の棚を見ると、その需要の高さを肌で感じる。そんな折、マスクの高額転売が問題となるなど悪影響も小さくなかったが、京都の繊維メーカー、ミツフジのように苦難を乗り越えようとする姿を見ると…(後略)

参考文献

1) 榊原謙. 「100回洗えるマスク」が登場 京都の繊維メーカー発. 朝日DIGITAL. 2020-05-26.
<https://www.asahi.com/articles/ASN5V64VYN5VULFA02V.html>, (参照2020-05-27).

明瞭区分性

どこまで自分の主張でどこから引用部分か明確にする

主従関係

文量は自分の主張が主、引用部分が従

出所の明示

参考文献のリストをつけること

引用の具体例



RASSF1A Inactivation Unleashes a Tumor Suppressor/Oncogene Cascade with Context-Dependent Consequences on Cell Cycle Progression

Rosalyn R. Ram, Saurabh Mendiratta, Brian O. Bodemann, Michael J. Torres, Ugur Eskiocak,* Michael A. White

Department of Cell Biology, UT Southwestern Medical Center, Dallas, Texas, USA
The RASSF1A gene is one of the most frequently inactivated genes in over 30 different types of cancers (H. Donninger, M. D. Vos, and G. J. Clark, *J. Cell Sci.* 120:3163–3172, 2007, <http://dx.doi.org/10.1242/jcs.010389>). Despite the prevalence of RASSF1A silencing in hu-

and therefore contributes to G₁ checkpoint activation upon RASSF1A inactivation.

MST2 mediates RASSF1A suppression of ERK activation. In the course of screening candidate oncogenic pathways reported to be inhibited by RASSF1A and induced by miR-21 (24, 25), we found that RASSF1A depletion resulted in significant elevation of baseline ERK1/2 activation and hyperresponsiveness of ERK1/2 to mitogenic signaling even in the background of oncogenic K-Ras (Fig. 4A and B). While this is consistent with miR-21 inhibition of Sprouty1/2 expression, thought to be a major factor mediating miR-21 oncogenic activity (25), we were unable to generate definitive evidence that ERK responsiveness to RASSF1A depletion was miR-21 dependent. RASSF1A depletion-induced ERK activation was associated with inhibition of Ras-GTP loading, suggesting that the pathway is engaged downstream of Ras activation (Fig. 4C). Notably, the RASSF1A-interacting protein MST2 also interacts with

DOI(Digital Object Identifier)

20. Frescas D, Pagano M. 2008. Deregulated proteolysis by the F-box proteins SKP2 and beta-TrCP: tipping the scales of cancer. *Nat. Rev. Cancer* 8:438–449. <http://dx.doi.org/10.1038/nrc2396>.
21. Westbrook TF, Martin ES, Schlabach MR, Leng Y, Liang AC, Feng B, Zhao JJ, Roberts TM, Mandel G, Hannon GJ, Depinho RA, Chin L, Elledge SJ. 2005. A genetic screen for candidate tumor suppressors identifies REST. *Cell* 121:837–848. <http://dx.doi.org/10.1016/j.cell.2005.03.033>.
22. Westbrook TF, Hu G, Ang XL, Mulligan P, Pavlova NN, Liang A, Leng Y, Maehr R, Shi Y, Harper JW, Elledge SJ. 2008. SCFbeta-TRCP controls oncogenic transformation and neural differentiation through REST degradation. *Nature* 452:370–374. <http://dx.doi.org/10.1038/nature06780>.
23. Kreisler A, Strissel PL, Strick R, Neumann SB, Schumacher U, Becker CM. 2010. Regulation of the NR5F/REST gene by methylation and CREB affects the cellular phenotype of small-cell lung cancer. *Oncogene* 29:5828–5838. <http://dx.doi.org/10.1038/onc.2010.321>.
24. Calipel A, Abonnet V, Nicole O, Mascarelli F, Coupland SE, Damato B, Mouriaux F. 2011. Status of RASSF1A in uveal melanocytes and melanoma cells. *Mol. Cancer Res.* 9:1187–1198. <http://dx.doi.org/10.1158/1541-7786.MCR-10-0437>.
25. Hatley ME, Patrick DM, Garcia MR, Richardson JA, Bassel-Duby R, van Rooij E, Olson EN. 2010. Modulation of K-Ras-dependent lung tumorigenesis by microRNA-21. *Cancer Cell* 18:282–293. <http://dx.doi.org/10.1016/j.ccr.2010.08.013>.

参考文献リストの書き方

- 引用した資料だけでなく、レポートを書くために参照した資料も参考文献とする。
- 参考文献リストの書き方は多様。
- レポートを課した教員の指定や論文投稿先の指定に従う。

参考文献リストの読み方

- 1)岡本良知『十六世紀日欧交通史の研究』原書房、1974年(初版1942年)
- 2)高瀬弘一郎「大航海時代イベリヤ両国の世界二分割征服論と日本」『思想』568 1971年 75~97頁
- 3)ルシオ・デ・ソウザ「一六～一七世紀のポルトガル人によるアジア奴隷貿易-ヴィクトリア・ディアス ある中黒人女性奴隷を追って」小澤一郎、岡美穂子訳、『南蛮・紅毛・唐人 一六～一七世紀の東アジア海域』中島楽章編、思文閣出版、2013年
- 4)WICKI, Josef S.J., "Die"Judeo-conversos" in der Indischen Provinz der Gesellschaft Jesu von Ignatius bis Acquaviva" *ArchivumHistoricum Societatis Iesu*.46,1977:342-361

参考文献リストの読み方 [解説]

図書の最後にある参考文献や註に掲載されている情報です。これらを見て、情報の詳細を説明してみましょう。

書誌事項: 図書名、雑誌名、論文名、著者名、巻号、出版社/者、出版年、ページ数

- 1) 岡本良知『十六世紀日欧交通史の研究』原書房、1974年(初版1942年)
- 2) 高瀬弘一郎「大航海時代イベリヤ両国の世界二分分割征服論と日本」
『思想』568 1971年 75~97頁
- 3) ルシオ・デ・ソウザ「一六～一七世紀のポルトガル人によるアジア奴隷貿易-ヴィクトリア・ディアス ある中黒人女性奴隷を追って」小澤一郎、岡美穂子訳、『南蛮・紅毛・唐人 一六・一七世紀の東アジア海域』中島楽章編、思文閣出版、2013年
- 4) WICKI, Josef S.J., "Die" Judeo-conversos" in der Indischen Provinz der Gesellschaft Jesu von Ignatius bis Acquaviva" *Archivum Historicum Societatis Iesu*.46, 1977:342-361

参考文献リストの読み方 [解説]

図書の最後にある参考文献や註に掲載されている情報です。これらを見て、情報の詳細を説明してみましょう。

書誌事項: 図書名、雑誌名、論文名、著者名、巻号、出版社/者、出版年、ページ数

- 1) 岡本良知 『十六世紀日欧交通史の研究』 原書房 1974年 (初版1942年)
- 2) 高瀬弘一郎 『大航海時代イベリヤ両国の世界二分分割征服論と日本』
思想 568 1971年 75~97頁
- 3) ルシオ・デ・ソウザ 『一六～一七世紀のポルトガル人によるアジア奴隷貿易-ヴィクトリア・ディアス ある中黒人女性奴隷を追って』 小澤一郎、岡美穂子訳、『南蛮・紅毛・唐人 一六・一七世紀の東アジア海域』 中島楽章編、思文閣出版、2013年
- 4) WICKI, Josef S.J. "Die" Judeo-conversos" in der Indischen Provinz der Gesellschaft Jesu von Ignatius bis Acquaviva" *Archivum Historicum Societatis Iesu* 46 1977 342-361

参考文献リストの書き方 -SIST02の場合-

雑誌論文

著者名. 論文名. 誌名. 出版年, 巻数, 号数, はじめのページ-おわりのページ.

単行本

著者名. 書名. 版表示, 出版地, 出版者, 出版年, 総ページ数, (シリーズ名, シリーズ番号), ISBN.

ウェブサイト

著者名. “ウェブページの題名”. ウェブサイトの名称. 更新日付. 入手先, (入手日付).

※記号は、半角英数。各項目の間は半角スペースを入れる。グレー箇所は任意。

※“,(カンマ)”と“.(ピリオド)”の違いに注意する。

<参考>

<https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/perusal/index.html>

Q1.

参考文献の引用元の明示は、本文中で一度行っているとしても、レポート末尾にリストとして載せるものなののでしょうか？

つまり、本文中とレポート末尾で2回引用元を明示する必要がありますか？

A1.

論文等が短い場合、本文中で引用情報をすべて明示できているのであれば、末尾にリストとして載せる必要はありません。

ただ本文中ですべて盛り込むのは冗長になって読みにくいと思います。

一般的には、本文中で簡単に記載し、注として、末尾や脚注に詳細な書誌事項を記載します。

Q2.

APA方式で明記する際、いくつかの書籍を当たりましたが、統一性がなく、何をベースにすれば良いのか困っています。

SISTとAPAで構いませんので、おすすめの書籍がございましたら、ぜひ共有いただければと存じます。

A2.

リソースにあります「レポート執筆に役立つブックリスト（引用編）」におすすめの書籍を載せています。

APAの最新版は洋書で所蔵しております。

Publication manual of the American Psychological Association : the official guide to APA style.7th ed. American Psychological Association, 2020.

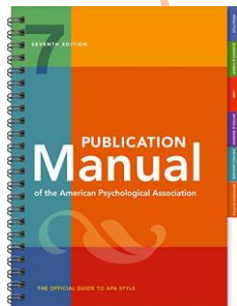
<https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB07302607>

参考:アメリカ心理学会のサイト <https://apastyle.apa.org/>

SIST02基準に準拠した事例を豊富に掲載しております。

レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方 / 藤田節子著 日外アソシエーツ, 2009.

<https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB03074926>



講習会年間予定



OWLポイント対象
4回すべてにご参加ください。

4月
レポート

4月
引用

10月
文献収集

2月
まとめ



4月

...

10月

...

2月

ありがとうございました

ご質問は調査・相談カウンターへ
お気軽にお尋ねください！

【参考】リソース資料

レポート執筆に役立つブックリスト(引用編)
SIST02のブックレット
文献管理について(2020年度講習会)